

ニカラグア定期報告（２０１７年４月）

２０１７年５月
在ニカラグア日本大使館

【要旨】

内政面では、モヒカ前国軍参謀総長がエネルギー庁長官に就任し、マルティネス運輸インフラ大臣が辞任した。外交面では、NICA Act が米上下両院に提出された他、ニカラグア政府が北朝鮮の弾道ミサイル発射を非難するコミュニケを発出、モンカダ外務大臣一行が台湾を訪問、コスタリカが賠償金額に関する申述書を提出した。経済面では、露衛星測位システム GLONASS の地上ステーションが完成した。

【主な出来事】

１ モヒカ前国軍参謀総長のエネルギー庁長官就任

（１）３日、オルテガ大統領が、モヒカ前参謀総長の I N E 長官任命に係る承認を求める緊急動議を提出したことを受け、４日、右動議が国会本会議に上程され、賛成多数で可決された（賛成 77、反対なし、棄権 14、空席 1）。

（２）４日、３月 31 日に退任したカスティージョ前エネルギー庁長官の後任として、モヒカ前国軍参謀総長がエネルギー庁長官に任命された。

（３）最大野党 P L C 会派は 14 名全員が投票を棄権した。ゴンサレス P L C 議員は、憲法第 141 条の定める緊急動議は、法案承認にのみ適用可能であり、任命承認には適用できず、本議案への緊急動議の適用は認められないと述べた。

２ マルティネス運輸インフラ大臣の辞任

６日、ムリージョ副大統領は、定例ブリーフにて、マルティネス運輸大臣が健康上の理由から辞任し、サンタナ同省次官が大臣職を引き継ぐ旨発表した。

３ 対ニカラグア制裁法案（NICA Act）の米下院提出

（１）５日、ロス＝レティネン議員等 25 名の米下院議員は、NICA Act を提出した。

（２）今回提出された NICA Act は、客年下院を通過した NICA Act と同様、ニカラグア政府が自由・公正な選挙の実施等の諸要件をクリアしたと米 국무省が認めない限り、米政府は、国際金融機関において、あらゆる対ニカラグア融資（B H N や民主主義促進に関する案件を除く）に反対するよう議決権・影響力を行使しなければならないと定めている。

（３）一方、本年版では、ニカラグア政府がクリアすべき要件として、汚職に関わった政府高官に対する捜査・訴追を含めた汚職との戦い、並びに、野党、ジャーナリスト、労働組合員、市民社会活動家の権利の保護が新たに追加された。また、米 국무省が議会に提出

すべきニカラグア政府高官の汚職に関する報告書について、2016年版では法案成立から120日以内に提出するとされていたが、今年版では90日以内とされた。

(4) NICA Act の下院提出を受け、5日、ニカラグア政府はプレスリリースを発出、「過激な立場で知られるこの議員グループの非理性的で不適切なもくろみは、深く根差した宗教・家族・コミュニティの豊かな文化の中で人々が平穏に暮らす一つの国を不安定化させることのみを目的としている。」と NICA Act を推進する議員達を非難した。

(5) OAS 事務局は、5日、プレスリリースを発出し、「NICA Act は、今会期のコンテキストにおいては、ニカラグア政府とOAS事務局が、ニカラグアにおける民主主義、選挙、及び制度の強化のための協力の中で実施してきている作業に対し、建設的な寄与をもたらさない。」「本法案を推進する議員達に対し、ニカラグア政府とOAS事務局が合意した作業を前進させるための時間と余地を確保できるよう、いくつかの点につき再考することを促す。」と述べ、今次 NICA Act に対する懸念を表明した。

(6) アルマグロOAS事務総長も、自身のツイッター・アカウントに「NICA Act の再始動は、ニカラグアとOASの作業に対する建設的な寄与をもたらさない。」と書き込み、同様の懸念を表明した。

4 NICA Act の米上院提出

テッド・クルーズ米上院議員は、27日、上院に NICA Act を提出、右法案の可決に向け他の議員と協力していくと述べた。

5 北朝鮮の弾道ミサイル発射に対するコミュニケ

7日、ニカラグア政府は、5日の北朝鮮の弾道ミサイル発射を受けに対するコミュニケを発表、「ニカラグアは、朝鮮半島における諸事件を深く懸念し、4月5日の北朝鮮による弾道ミサイル発射への拒否を表明する。」「朝鮮半島の非核化、並びに（北朝鮮が）国連安保理決議に則り完全、検証可能、不可逆的な形で核軍事計画を放棄することへの我々の切迫した要請を表明する。」と述べた。

6 モンカダ外務大臣一行の台湾訪問

(1) 台湾を訪問したモンカダ外務大臣、アコスタ財務大臣、ソロルサノ勸業・産業・通商大臣は、10日、蔡英文總統を表敬した。

(2) ムリージョ副大統領は、10日の定例ブリーフにて、台湾は、ニカラグアの物流能力強化を目的として、カリブ海側における港湾の建設及びマナグア空港の拡張・再整備のための技術的・経済的支援を提供すると発表した。

7 コスタリカによる賠償金額に係る申述書の提出

(1) 3日、コスタリカは、ニカラグアが支払う賠償金の金額につき I C J に申述書を提

出し、670万ドルの賠償を主張した。ウガルデ駐オランダ・コスタリカ大使は、右金額は、ニカラグアの違法な活動の結果として生じた真に必要な不可欠な費用であると述べた。

(2) 右申述書に対し、ニカラグアは、6月2日までにICJに答弁書を提出し、自身の主張する金額を提示する必要がある。

(3) 国際法専門家のマウリシオ・エルドシア氏は、両国は(ICJの定めた期間である)12ヶ月の間に金額について合意できなかったが、二国間で合意に達するチャンスは依然として残されており、司法プロセスの高いコストを考慮すれば、合意成立は双方に利するだろうと述べた。

8 露衛星測位システム GLONASS 地上ステーションの完成

(1) 6日、マナグア市西部ネハパ地区に建設が進められていた GLONASS の地上ステーションの完成式が開催され、コモロフ露宇宙公社 ROSCOSMOS 代表、ブダエフ駐ニカラグア露大使、ラウレアーノ・オルテガ・ニカラグア投資振興機構 (PRONicaragua) 顧問、カステイージョ通信郵便庁 (TELCOR) 長官他が出席した。

(2) コモロフ ROSCOSMOS 代表は、中米初の GLONASS の地上ステーションがニカラグアに設置される点を強調し、「ロシアとニカラグアの協力と友好の歴史は古いが、本日、我々は新たな歴史の1ページを開いた。」と述べた。

(3) ブダエフ露大使は、右地上ステーションを「ラ・ガビオタ」(スペイン語で「カモメ」の意。)と命名することを提案、世界初の女性宇宙飛行士となった旧ソ連のテレシコワ氏も(宇宙飛行時の自身のコールサインとして)「カモメ」という名前を使用していたと述べた。

(4) カステイージョ TELCOR 長官は、GLONASS の衛星24基のうち5基がニカラグアにデータを送信するとし、「この計画は、オルテガ大統領とムリージョ副大統領の災害対策への関心から出発したものだ。」と述べた。

<主要経済指標>

	2017 年			2016 年	2015 年
	4 月	3 月	2 月		
インフレ率 (前年同月比)	3.4%	3.2%	3.7%	3.1%	3.1%
貿易収支(百万ドル)	未発表	未発表	未発表	△3,227.6	△3,013.9
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	未発表	未発表	2,226.4	2,421.7
輸入 FOB(百万ドル)	未発表	未発表	未発表	5,453.9	5,435.7
海外送金 (百万ドル)	108.4	113.6	107.6	1,264.1	1,193.4
外貨準備高(百万ドル)	2,500.0	2,462.4	2,433.1	2,447.8	2,492.3

(出典：ニカラグア中央銀行)